

加古川水系河川整備計画

国管理
区域



国土交通省 近畿地方整備局
姫路河川国道事務所

治水 安全で安心できる暮らしを守るために

加古川水系ではこれまでも、度重なる洪水被害を受けてきました。なかでも、戦後最大規模の洪水となった平成16年台風第23号洪水においては、流域で1,600戸以上が浸水するなど甚大な被害が発生しました。

平成16年 台風23号の被害

加古川が危険水位突破

加古川流域に甚大な被害が発生しました。

平成16年台風第23号洪水の被害状況	
死傷者	1名
床上浸水	430戸
床下浸水	1,222戸

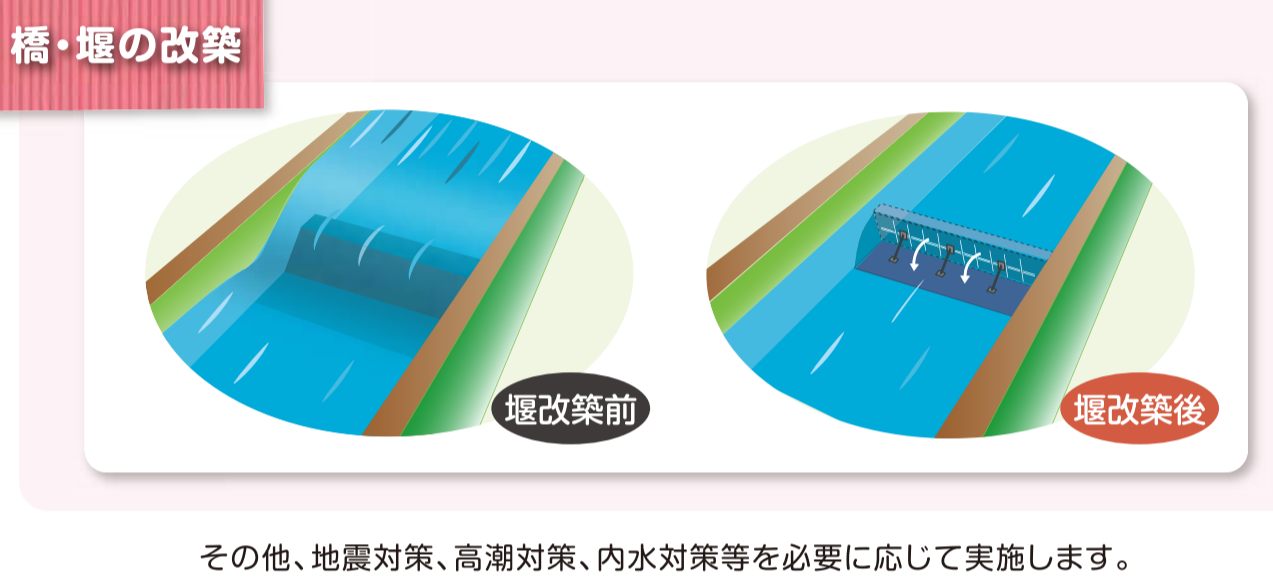
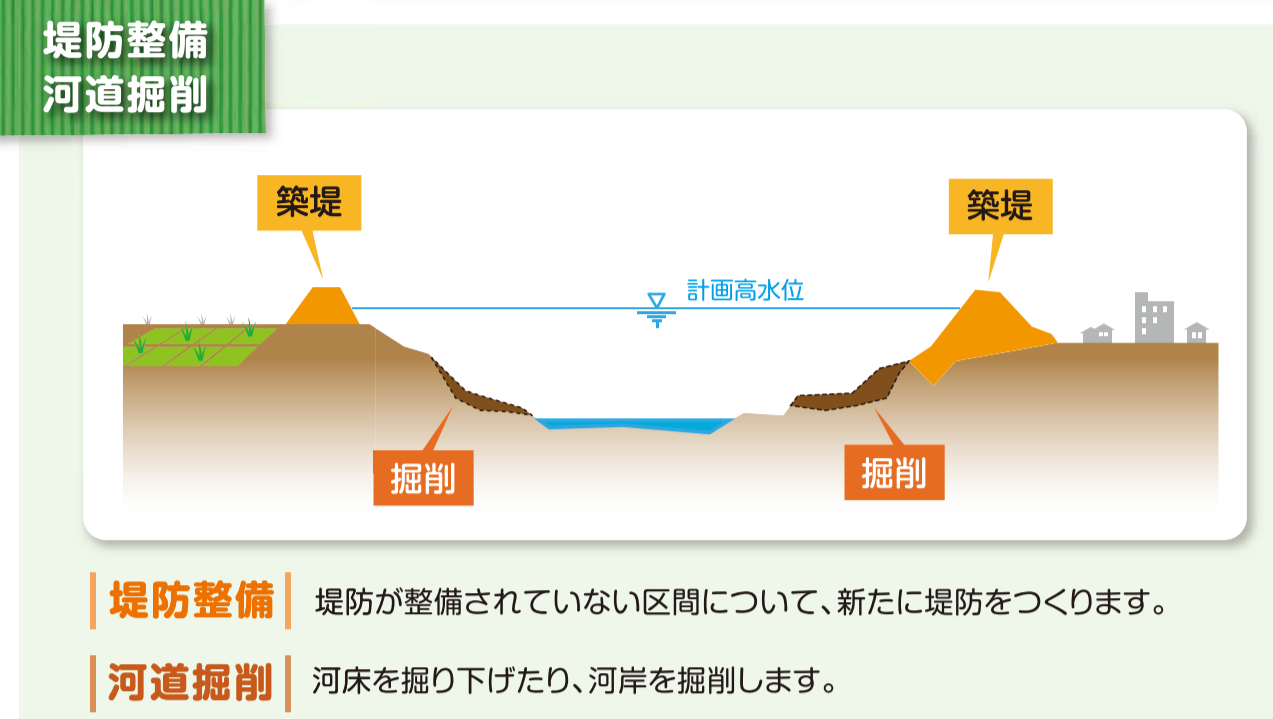
加古川 32.6km付近 (加東市)

加古川 36.0km付近 (加東市)

加古川 35.2km付近 (朝来市)

注目!!

「堤防整備」、「河道掘削」、「橋・堰の改築」等を計画的・効率的に推進し、戦後最大規模となる平成16年台風第23号洪水と同規模の洪水が再び発生した場合でも浸水被害の防止または軽減を図ります。



河川管理

洪水による浸水被害から国民の生命、財産を守るために

河川管理施設等の機能維持を実施します。

堤防の維持管理

加古川大堰の機能維持

樹木の管理

河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持

河川の環境の保全のために安定した水量を確保します。

流量の確保

渇水時の関係機関の連携と調整

河川環境 生物の多様性が将来にわたって維持されるように

注目!! 「瀬・淵」、「わんど・たまり」、「礫河原」の再生に努めます。

注目!! 「水際植生」、「河口干潟」の保全に努めます。

注目!! 魚類などの移動の連続性を確保します。

瀬・淵 洪水時における魚類の避難場所や鳥類や、植物の良好な生息・生育・繁殖の場です。

わんど・たまり 季節や水量によって形成規模が異なる不安定な環境で魚類や貝類、鳥類、植物の良好な生息・生育・繁殖の場です。

水際植生 鳥類や哺乳類、昆虫類、魚類、産生動物の良好な生息・生育・繁殖の場です。

河口干潟 干潟による影響で時間帯によって塩分濃度が変化する感潮域であり、ヨシ群落が発達している所で魚類、昆虫類、甲殻類、貝類、鳥類の良好な生息・生育・繁殖の場です。

地域住民との連携

注目!! 地域の実情に合わせ、多様化や高度化した地域住民のニーズに応えた河川整備を実現していくために、地域住民、地域で活動されている方々、河川管理者が一体となった取り組み、または、地域の自発的な活動やその活動を行う人材の育成、地域住民間の交流を支援することで、地域の方を活用した、それぞれの個性を活かした川づくりを実施します。

地域で活動されている方々

つがる まる

河川管理者

日頃から洪水への意識、また洪水発生時等の適切な避難判断のために

加古川の雨量・水位情報を提供しています。

リアルタイムで雨量・水位情報をホームページで提供しています。

パソコンで確認できます

携帯電話で確認できます

自動メールで情報を提供します

加古川に関する相談は、下記までお寄せください。

姫路河川国道事務所

加古川分室

小野出張所

話そうはりまホームページ <http://www.kkr.mlit.go.jp/himeji/>